



いつもお世話になっております。

職業奉仕委員会からは、次の3つの点についてお願いをいたします。

第一点は、卓話に関するお願いです。

今年度（2009－10年度）、RI. ジョン・ケニー会長は優先7項目の中で、「ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する」と言っておられますし、久邇ガバナーもそのご方針であります。

ところがクラブの方々からは、「職業奉仕というものがいまひとつよく分からない」というご意見や、「クラブの職業奉仕委員会はどのような活動をすればよいのか」というご質問をいただくことがあります。

そこで今年度は、RI会長のお考えを実施するために、できる限り多くのクラブにお伺いして、職業奉仕とは何か、どのような活動をすればよいのかについて卓話をさせていただきたいと考えております。

その場合、クラブからのご注文は「分かりやすく話してもらいたい」ということです。

そこで私どもも、「分かりやすい」という一点に絞ってお話申し上げます。

10月は、職業奉仕についての理解を広める「職業奉仕月間」であります。しかしこの月間に限らず、年間を通じて卓話をさせていただきたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

第2点と第3点は、クラブにおける実践活動についてのお願いであります。

第2点は「課外授業」のお奨めです。

これは、クラブからの何人か会員の方が近くの小・中学校に出向いて、生徒たちに仕事の話、人生の話、社会の話などをする一種の社会科の課外授業であります。

普通、地区の教育委員会などを通して行うのですが、実施されているクラブのお話では、学校はもちろんPTAや教育委員会から大変ご好評をいただいているようです。

そういうことで、この活動を実施されるクラブが増えてきました。地区としても、クラブの職業奉仕委員会にお奨めしているところ です。

第3点は「インターンシップ」のお願いであります。

これは、希望して手を挙げた高校からクラブが生徒さんを受け入れ、少人数に分けて会員の方々の職場に配属し、現場の実践教育を行うものです。

仕事の中身もさることながら、マナー教育などが行われますので、受講前と後で挨拶のしかたが変わってきたなど、学校や両親からも非常に喜ばれています。

今年度は5校の手が挙がっています。受け入れていただくクラブには労力をおかけしますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

職業奉仕委員会では、「課外授業」を熊野隆喜副委員長が担当し、また「インターンシップ」を廣瀬武彦副委員長が担当いたしますので、ご活用ください。

